

# 公安委員会定例会議(第13回)の開催状況

第1 日時 令和6年5月22日(水)  
午後2時08分 ~ 午後4時33分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員  
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、刑事部長  
交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
生活安全企画課長、総務課長

## 第3 議事の概要

### 1 佐伯委員説示

本日は、本年3月21日の国家公安委員長(代理)記者会見における警察庁長官の発言から考えたことをお伝えしたいと思います。このとき長官は、昨今の組織犯罪情勢について、「匿名・流動型犯罪グループ」及び「大麻」をキーワードに挙げた上で、大麻事犯の検挙人数が過去最多で、その約7割を20歳代以下の若者が占めており、関係部門が一体となって取締りを徹底するとともに、情報発信や啓発を一層推進すると説明しました。

私は、この2つのキーワードから「若者の育成」という言葉が浮かび、若者を犯罪の被害者にも加害者にもしない、そういう若者を人材として育てるという観点が何よりも重要ではないかと感じました。昨年の定例会で、韓愈の「雑説」に出てくる「世に伯楽有りて、然る後に千里の馬有り。千里の馬は常に有れども、伯楽は常に有らず」という言葉を御紹介しました。人材は常にいるが、それを見出し、適切に育てる指導者が圧倒的に不足しているという韓愈の言葉で、人材育成の要諦といえます。

これには続きがあり、「名馬有りて雖も、ただ奴隸人の手に辱められ、槽檻の間に駢死して、千里を以て称せられざるなり」という言葉があります。つまり、名馬であっても、つまらない人の手で育てられ、つまらぬ馬だと辱められ、称えられることもなく、馬小屋の片隅で駄馬と首を並べて死ぬこともあるということです。伯楽でない人は、馬が不満を訴えて泣いても馬の気持ちを理解することができず、鞭を手に取り馬に向かって「天下に良馬なし」と言うのです。

ロケットエンジンを備えている人材に時速50キロで走れと言っても無理な話で、その人の才能を見抜き、適切な方法で育てるべきというのが韓愈の考え方です。韓愈は唐の時代の官僚で、雑説において自分の出世の道が開けないことを嘆き、馬に託して不満を訴えたという話がありますが、私はむしろ韓愈は天下国家を案じて優秀な人材を見つけ、適切な手法で育てて社会の宝とする思いや願いがあったのではないかと考えています。

社会を良くするためには、良好な治安を担う警察組織が優秀な警察職員を育てる必要があります。韓愈の言葉は大きな意味を持ちます。将来の県警察を担う若者を育成するには、優秀な人材を見つけ、適切な指導の下、立派に育てていくことが何よりも重要です。そうした観点で人材育成に取り組んでいただきたいと思います。

## 2 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議の会議録  
総務室から、令和6年第12回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 犯罪被害者等早期援助団体に関する規則に基づく書類の提出  
総務室から、犯罪被害者等早期援助団体に関する規則に基づく書類の提出について伺いがあり了承した。
- (3) 自転車防犯登録手数料の改定  
生活安全部から、自転車防犯登録手数料の改定について伺いがあり了承した。
- (4) 禁止命令等実施報告  
生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。
- (5) 愛媛県風俗案内業の規制に関する条例の制定  
生活安全部から、愛媛県風俗案内業の規制に関する条例の制定について伺いがあり了承した。
- (6) 愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正  
刑事部から、愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正について伺いがあり了承した。
- (7) 指定自動車教習所の指定  
交通部から、指定自動車教習所の指定について伺いがあり了承した。
- (8) 警察職員等の援助要求  
警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。
- (9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、15件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

- (1) 令和6年版まもると安心の白書の発行  
警務部長から、令和6年版まもると安心の白書の発行について報告があった。  
委員から、「カラー印刷であり鮮やかで見やすい。また、警察の固い印象と異なりやわらかいイメージに仕上がっていると思う。この白書によって県警察に対する県民の垣根を低くし、警察活動を理解してもらえるきっかけとなることを期待している」との発言があった。  
委員から、「写真を多用し非常に読みやすい。県民の利便性向上にもつながる白書であり、活用していただきたい」との発言があった。  
委員から、「良い白書ができたので、多くの県民の目に触れるように置き場所に配慮し、幅広く周知いただきたい」との発言があった。
- (2) 第15回愛媛県警察嘱託警察犬競技会の開催結果  
刑事部長から、第15回愛媛県警察嘱託警察犬競技会の開催結果について報告があった。  
委員から、「警察犬が実績を挙げるためには、警察犬の能力はもとより、ハンドラーである飼い主の資質も重要である。今後も競技会等を通

じてレベルアップを図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「代表的なシェパード犬に限らず、他の犬種にもそれぞれの特徴があることがよく分かった。訓練に励んで得意分野を生かし、活躍できるように頑張っていたきたい」との発言があった。

委員から、「日頃からよく訓練して育てられていると思う。警察犬の重要性は昔から変わらないので、今後も活躍に期待したい」との発言があった。

### (3) 自動運転バス実証実験の現状

交通部長から、自動運転バス実証実験の現状について報告があった。

委員から、「今後、AIが急速に普及し、おそらく無人運転によって運輸・運送業界の人手不足の解消につながる取組だと思う。道路整備等もセットで取り組む必要があり、実証実験は大変だと思うが、実現すれば喜ぶ人も多いと思うので、積極的に推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「商店や病院がなく高齢者が多い過疎地域で無人バスが走るようになれば非常に便利だと思う。先進的な取組であり、普及が進めば高齢者が運転せず安全な生活が成り立つことから、実現に期待したい」との発言があった。

委員から、「将来が楽しみな取組である。事業者や関係省庁と連携し、県警察の視点で交通事故防止や渋滞緩和等交通の円滑化等の検討に努めていただきたい」との発言があった。

## 4 その他

(1) 情報通信部長から、「無線中継所防護を担当する職員から無線中継所の視察の要望などあれば、積極的に情報通信部職員が機能等について説明し、その重要性等について理解を深めていただくよう取り組んでまいりたい」との発言があった。

(2) 本部長から、「委員説示の中にあった人材発見と諫言の観点からお話ししたい。警察庁の大先輩が、人材発掘の要諦について尋ねられたときに、「無事是名馬」と答えたそうだ。これは病気や怪我等がなく、第一線で活躍し続ける馬こそが名馬である、という意味である。当時は膨大な業務、長時間労働、厳しい指導等が当たり前の時代であったが、そうした中で生き残った人物が名馬になるという教えであった。反面、こうした過酷な環境であったが故に潰れてしまった同僚がいたことも事実である。今はハラスメント防止やワークライフバランスの推進によって職員の成長を邪魔しない環境が整ったが、他方で、いかに成長を促していくかということが重要だと思う。また、その先輩は、部下に対して、「自分と同じ意見であれば言う必要はない。自分と違う意見を言ってほしい。そうでないと聞く価値がない」ということを言っていた。つまり諫言を受け入れる方であった。幹部になると、意に沿わない意見を聞く機会が少なくなるが、反対意見や異なる意見にもしっかり耳を傾ける姿勢が必要だと思う」との発言があった。

以上